

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年6月7日

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	甲斐市	代表者名	保坂 武
担当者部署	総務部 スマートプロジェクト推進課 スマートシステム推進係	連絡先電話番号	055-267-7257
担当者役職	副主幹	担当者氏名	丸山剛
住所	400-0192 山梨県甲斐市篠原2610	連絡先E-mail	

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉田 孝志
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">本市における地理的状況、観光面、企業団体等を事前に把握しており、本市が依頼している内容に即した経験談や事例紹介をいただくなど、課題解決に向けた手段としてのヒントを得ることができた。いただいた資料において、本市の疑問や理解していなかった内容が簡潔にまとめられており、また、親切かつ分かり易く説明していただき、理解を深めることができた。
アドバイザーへの要望事項	次回の会合において、提案・課題の対象となる現地を見ていただいた上で、さらに踏み込んだヒントをいただき、合理的な施策に繋げていきたいと思っている。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年5月30日	支援・助言(実地)	有	令和4年5月31日	24
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和4年6月1日	講演(オンライン)	13時05分	17時15分	10
				活動時間(分)	240
3-2. 派遣場所	会場名	甲斐市役所本館3階庁議室	最寄駅	竜王駅	
	所在地	山梨県甲斐市篠原2610番地	最寄駅からの交通手段	徒歩(15分)、タクシー(5分)	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	甲斐市役所職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">光ファイバー等の情報通信網が行き届いていない地域が北部にあるため、情報インフラ未整備地域の解消及び有効な利活用につなげられるかが課題となっている。企業・自治体のテレワークやGIGAスクール構想におけるオンライン授業が必須となる中で、地方都市において低価格かつ高速で通信できるWi-Fi等の情報インフラが必要であると事業者から提案を受けているが、整備した施設を持続的かつ効果的な利活用につなげられるかが課題となっている。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">情報インフラ未整備地域の解消につなげる整備手法を見出し、また整備したインフラの有効な利活用の手段を得ること。本市の特色・目的に応じた持続的・効果的な利活用につなげる情報インフラ整備の手法を見出すこと。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">本市に則した情報インフラ整備における他市町村の整備事例の紹介情報インフラ整備における基礎知識の習得既存施設の利活用による情報インフラ整備方法観光面や地域住民、企業等を巻き込んだ情報インフラの利活用方法と事例紹介	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・本市における現状のインターネット回線の施工内容（MDFなど）を調べることで、余剰回線等を活用した整備も可能であることを知り、既存資産で改善できる手法を知ることができた。 ・最近のインフラ整備における基礎知識、動向を知り、理解を深めることができた。 ・観光面や地域住民、企業等をキーワードに、今まで情報インフラ資産の活用方法の考え方とは別の視点でとらえることができるようになり、整備目的の視野が広がった。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	アドバイザー支援制度の途中段階であり、情報インフラ未整備地域の解消につなげる情報インフラ整備の具体的な手法や整備した情報インフラの有効な利活用の手段については、現在のところ決まっていない。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 現在のところ、アンケートを必要とする事業内容ではない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	デジタルの恩恵を市民が等しく享受できる環境を構築し、当該環境を観光対策や災害時等を視野に、持続的、効果的に利活用できる事業（仕組み）につなげていく。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。
なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



